

～向島ニュータウン再生・向島地域の活性化，
「人の力で、まちはかえられる」～

向島ニュータウン まちづくり通信 第2号

平成 28 年 6 月 28 日発行

中文版、请在下面的网址。 <http://www.city.kyoto.lg.jp/tokei/page/0000199646.html>

「向島ニュータウンのこれからを話し合う集い」が開催されました！

6 月 11 日（土）に向島藤の木小学校体育館にて、「向島ニュータウンまちづくりビジョン」をつくっていくために、住民や各種団体から約 100 名が参加し、向島の良いところ、課題などを 6 つのテーマで話し合いましたので、お知らせします。

グループ 1

『住まい』

向島は子どもが元気！

緑豊かな公園をしっかりと管理していけるように。

空き家が増加しているので、今住んでいる人だけでなく若い人や新しい住民が増えるよう活用方法やあり方を検討する必要がある。公園は緑豊かで、ホテルが生息するようになったが、安全面やバリアフリーを含め管理方法を考える必要がある。駐輪場の管理やペット問題など取り組むべき課題である。



グループ 2

『高齢者・障がい者の暮らし安心』

向島は居心地の良い、多様な柄（ガラ）のあるまち！

「居場所」ではなく、自分たち目線で「拠点」づくりをしよう。

大学や病院、デイサービスの送迎バスなどすでにある移動手段をうまくつなぎ、コミュニティバスのような機能を検討したい。

空き家を病児保育や避難場所として確保するなど活用できないか。また、災害時を想定した情報共有の徹底が必要。



グループ 3

『子育て充実』

向島は人があたたかく、子どもたちが人懐っこい！

子どもだけでなく、多世代交流の場づくりを。

親同士のコミュニケーションの場がもっと必要。支援を必要とする子どもに食育と食事を提供するキッズキッチンや、夜の安全な居場所をつくったりするような活動をもっと広げていきたい。学校統合後の空き地は多世代交流ができる拠点にしてほしい。



グループ 4

『防災・防犯』

地域と行政、それぞれの連携が重要。

基本的な防災情報の周知と助け合うための情報共有を。

洪水と地震など、事態に応じた訓練をするとともに、家がどれくらいの地震に耐えうるのかなど基本的な情報を周知し、住民が工夫して対応できるようにしたい。また、豪雨時でも各街区に情報が聞こえるような仕組みを整える必要がある。日常の安全面では、街路樹が街灯を妨げ暗いところがあるので、費用面含めて安全確保の方法を考えていきたい。



グループ
5

『歴史文化・多文化共生』

向島は歴史のある、国際性豊かなまち！

多文化が共生できるまちとして、その可能性を引き出していきたい。

言葉や習慣の違いによる人の分断、国道24号線による空間の分断などいろいろな壁はあるが、向島の歴史や国際的な環境には可能性がある。ニュータウンや向島全体で集まれる場所や仕組みがほしい。小中一貫校もできるので「子育てによいまち」にしたい。まちのイメージは人の力で変えていける。



グループ
6

『経済活性化・交通問題』

向島は、自然豊かでホテルがいろいろあるまち！

自然、農業、公園の緑を生かした活性化を。



バスの便数やルートに不便さがあるが、少し延伸するなどすれば便利になるのでは。ニュータウン全体で商業地の配置、買い物難民支援など高齢化する中での商業のあり方を考え直す必要がある。向島の立地と魅力を生かした地場野菜を売る、人が集う場所づくりを検討したい。

集い参加者のアンケートから

- ・向島ニュータウンを築立ち離れて行った子や孫が自分の「ふるさと」は向島だと自慢ができるようなニュータウンづくりを考えていきたい。
- ・高齢者、障害者の共存は基本としながらも、若い人がまちのことに取り組める環境をつくるべき。
- ・子どもたちが集まることができる拠点を増やすことは、高齢者の生きがいにもつながる。小さい子どもが夜1人である環境をなんとか改善していきたい。



先生方からのコメント

多くの方々が参加し、積極的な意見がたくさん出た素晴らしい会でした。解決すべき問題点もいろいろ出ましたが、それ以上に、自然や歴史、人のつながりや国際性など、良いところがたくさん語られたことが印象的です。浮かんできた大切なキーワードは、『柄が悪い』だけでなく、いろいろな柄があるまち＝『居心地のいい柄の悪さ』がいいな。そして「人の力でまちはかえられる」。取り組みの合言葉にしたい素適な言葉です。

向島には様々な課題を抱えた人が住んでいます。その人たちこそ、すべての人に優しいパワーの可能性を秘めています。そういった可能性や多様性を十分に生かすために、様々な出会いの場所が必要だと思います。そのためには、訪問して、誘い出すことも重要です。夢を描ける子どもたちを増やし、夢をつくっていきましょう。



立命館大学産業社会学部 教授
乾 亨さん（ビジョン検討会委員）



龍谷大学短期大学部 教授
加藤 博史さん（ビジョン検討会委員）

今後の予定

「話し合う集い」における各テーマ・グループを基にして、まずは6つの「ワーキンググループ」を設置します。「話し合う集い」での御意見を踏まえて、課題の検討を行いますので、御関心のある方は、事務局までお問い合わせください。

発行：向島ニュータウンまちづくりビジョン検討会

事務局：京都市都市計画局都市企画部都市総務課 担当：菱田、平岡、彼(しの)

電話：075-222-3610 ファックス：075-222-3689 メール：toshisomu@city.kyoto.lg.jp

『話し合う集い』に参加できなかった、「関心はあるがワーキンググループに参加するまでは・・・」という方は、事務局連絡先に御意見をお寄せいただいても結構です。

検討会の情報等は [向島ニュータウンのまちづくり](#) [Q 検索](#)

